

# 勿来高だより

平成23年6月17日

NO.4

僕たちに何ができるだろう … 生徒の問いかけに

勿来高等学校長 鎌倉雅臣

日々苦勞している父・母・兄・姉、大人たち、巨大な現実に向き合ったとき、僕たちは何をなすべきなのだろう、そう自らに問いかける生徒諸君の見上げる眼差しに、溢れる思いを感じる。われわれ教師は、大人たちは、本当にこの子たちには苦勞をかけたくない、この子の思いを大切に育てたいと思う。生徒諸君に課せられた課題は、「じっと歯を食いしばって、未来のために学習を続けること、そして少しでも早く明るい未来を、築くこと」。そう考えれば考えるほど、厳しい現実を何とか乗り越えねばと感じる。ひとえに未来は子ども達にかかっている。だから、大人は頑張れる。子ども達はその姿を見る。

「僕たちに何ができるのですか」そう声を上げてくれた生徒諸君に、とにかく「勉強してその知識と力で安心して明るい未来を創って欲しい」と言わざるを得ない教師のつらさを噛み締めつつ感謝する日々である。

3月11日東日本大震災が発生しました。幸い学校は大きな痛手もなく、4月14日には始業式を行い、15日には、新入生54名を迎え入学式を挙行了しました。震災のため高校の制服が間に合わず、中学校の制服での入学式でしたが、新たな希望を胸に高校生活のスタートとなりました。

また、磐城農業高校の校舎が震災のため使用できなくなり、本校で始業式・入学式を行い、4月27日からは、同じ校舎での生活が始まりました。中学校が同じ生徒も多数いて、登下校や部活動など、思いがけない交流の場となっています。



## 【 弓道部女子団体優勝 】

5月7日（土）～8日（日）まで行われたいわき地区高等学校体育大会弓道競技で、本校女子弓道部が団体優勝を果たしました。団体での優勝は、弓道部だけでなく最近にはなかったことだけに学校挙げての喜びとなりました。全員初心者で、1年生から取り組んできた成果が現れたと思います。



## 「勿来の関マラソン」に参加しました！

去る、3月6日（日）に開催された「金栗杯勿来の関マラソン大会」に、生徒2名、教員4名が参加してきました。天気に恵まれ、体調も万全の状態ですることができました。全員でおそろいの勿来高校Tシャツを着て走ったところ、沿道のみなさんから「勿来高校、頑張れ！」と声をかけていただき励みになりました。

高校生女子の部（5km）に参加した村田早紀さん、高校生男子の部（10km）に参加した会川皓平くんは、練習の甲斐あって無事に完走することができました。来年までにタイムがもっと向上するよう練習したいとのことでした。成年男子の部（15km）に参加した齊藤先生いわく、勿来の関公園までの坂が一番苦しかったけれど、多くの人に応援していただき最後までがんばれたとのことでした。



ぜひ来年も勿来高校として参加したいと考えています。走りたい気持ちがあれば大歓迎です。ぜひ一緒に勿来路を駆け抜けましょう！

## 進路状況について

昨年度の進路状況については、右の表の通りです。進学に関しては、ほとんどの生徒が希望通りの学校に合格しました。なかでも3年ぶりに国立大学の合格者がでたことは大変喜ばしいことです。看護系の学校については、厳しい結果となりました。他の専門学校と比較すると成績面だけでなく遅刻や欠席が非常に重視されていると分析しています。

就職に関しては、年内に内定した生徒が少なく、年明けから徐々に増えてきました。これは、中小企業への就職支援策の効果もありますが、就職支援員により生徒の希望する企業を開拓して頂いたことが大きな理由の1つだと思います。また、1社目が不採用であっても前向きに、熱心に取り組んだ成果でもあると思います。1つの職種に絞り、諦めずにチャレンジし、信念を貫いて同じ職種を4社受験して内定をした生徒もいます。

今年度も厳しい就職戦線が予想されますが、生徒一人一人にどのような仕事がむいていか、インターンシップなどを活用し進路の決定に努力してまいります。

卒業生進路状況

平成23年5月31日現在

平成23年3月卒業

区分	県内外別	県内				計
		男子	女子	男子	女子	
就職	建設業	2	1			3
	製造業	6	3	2	1	12
	飲食店・宿泊業		2			2
	卸売・小売業					0
	運輸業					0
	医療・福祉関係		2		2	4
	サービス業	2	4		2	8
	公務員	1	0		0	1
	小計	11	12	2	5	30
進学	大学	1	1	1	3	6
	短期大学				1	1
	専門・各種学校	3	6	3	5	17
	小計	4	7	4	9	24
その他	1	13			14	
合計	16	32	6	14	68	